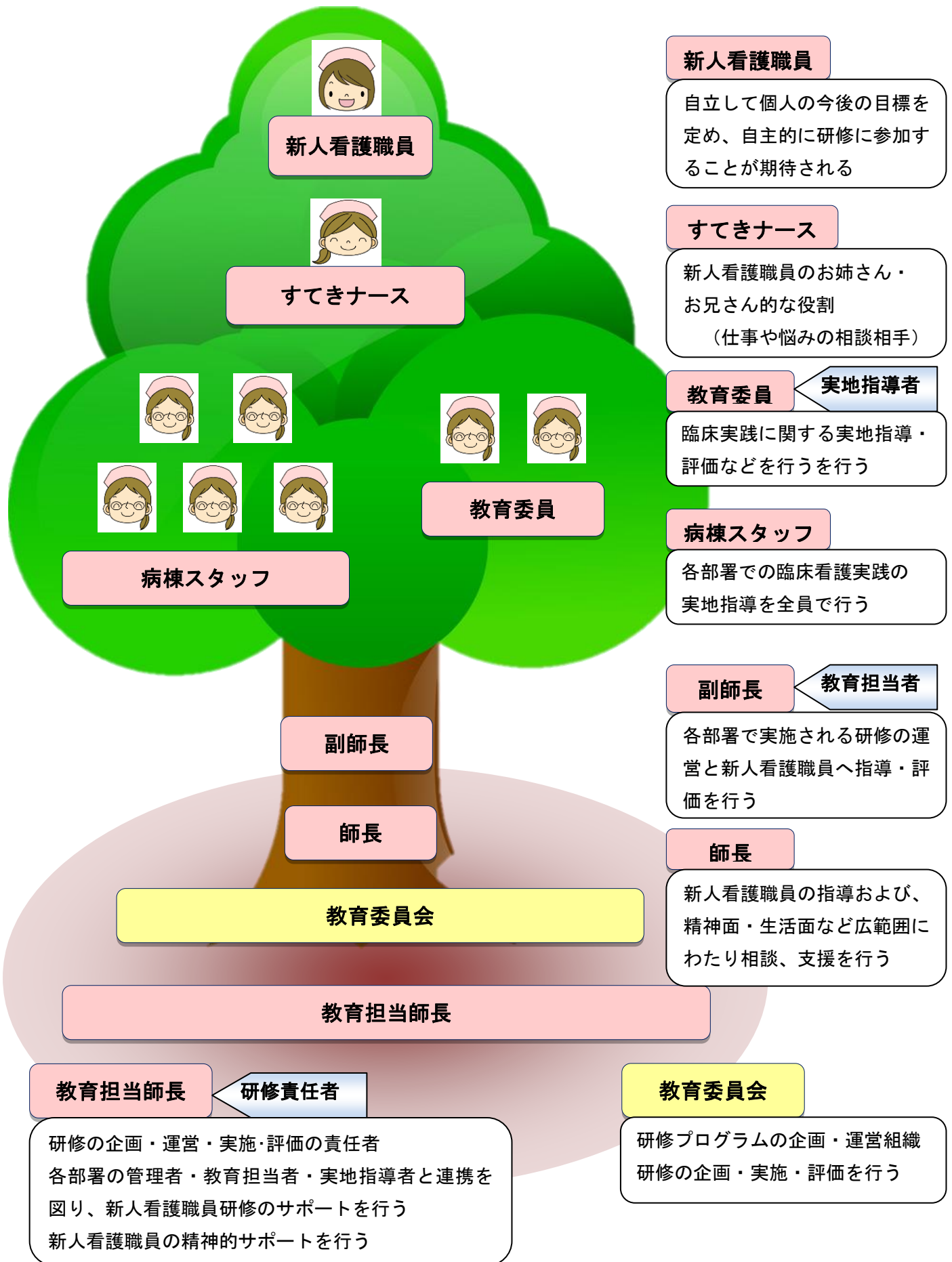


3. 新人看護職員指導体制図

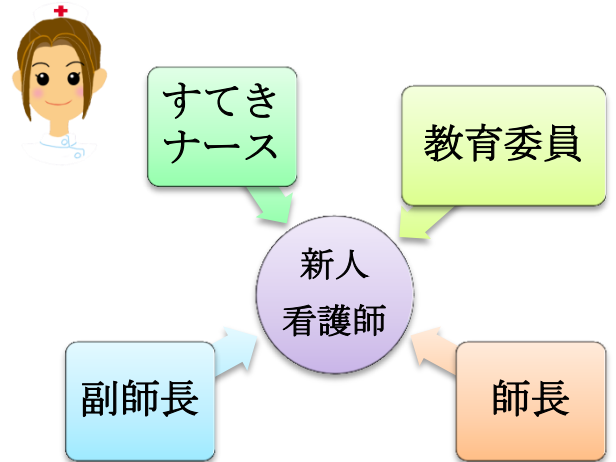


1) すてきナース

新人看護師に対して、「仕事やプライベートの悩みの相談相手」として1年間接します。すてきナースとは、新人の気持ちがよりわかり、学習方法や悩み事の相談や支援を行う“お姉さん（お兄さん）看護師”のことです。

臨床現場でのさまざまな指導は、現場のスタッフ全員で行うようにしています。

教育に関するフォローは教育委員、副師長、師長が連携しながら行い、新人看護師の皆さんが不安なく業務を覚え、患者さんに喜ばれる看護の提供を実践できるよう支援します！



2) 3ヶ月ごとのリフレッシュトーク！

当院では採用者全員を対象に、3ヶ月ごとの面談を行っています。面談は教育担当師長で行います。直属の上司にはなかなか言えないことや不安なことなど、何でもOKです。フリートークをして、すっきりしてもらうことが目的です。また、リフレッシュトークによって早期からの採用者への支援が可能となります。

3) 個人のペースに合わせた教育を！

毎年、多くの新人が「夜勤はいつから入るの？」という不安の声が聞かれます。そこで当院では、本人の自信がつくまでは夜勤に入ることはありません。自己評価・他者評価で1人1人の新人の皆さんのペースに合わせて指導をすすめていきます。



4) 同期のつながりが心の支えになります

同じ年度に採用された、“同期”の存在は、慣れない環境では何よりも大きな心の支えになっているようです。当院では毎月、同期がそろそろ研修を開始し、心細くなりがちな春から夏にかけてを乗り切れるように工夫しています。また看護部全員がそろそろ食事会や夏祭り、ビーチバレーボール大会など、レクレーションを通して仲間づくりができるようにしています。

